

### 代表質問(要旨)

## 公共交通の維持と活性化は

### 広域バス路線の実証運行を実施

**長谷川修平議員(民主)** 運賃収入の減少から、乗り合いバスの路線廃止などがされているが、生活の足としての公共交通の充実、県北振興策の中でも、県として最も重要な課題である。公共交通の維持と活性化にどのように取り組んでいくのか。

**知事** 平成二十三年度は、特に公共交通の減少が著しい県北地域の生活・交流を支えるため、市町村を越えた広域交通の充実に向けて、広域バス路線の実証運行を行うモデル事業を二地域で実施したいと考えており、こうした取り組みの結果を十分に検証し、全県的な公共交通の活性化に活かしていきたい。

**議員** 本県の医師数は人口十万人

## 古河地区の中等教育学校の学校づくりは 高い学力と豊かな人間性を兼ね備えた 次代のリーダーを育成する

**江田隆記議員(自民)** 平成二十五年度に開校する古河地区の中等教育学校の学校づくりは、特に、つくばの研究機関などや地元医師会などと連携し、六年間を通じて、魅力ある教育が受けられるよう、特色ある学校づくりを進めるべき。

**教育長** 高い学力と豊かな人間性を兼ね備えた次代のリーダーを育成する中高一貫教育校を目指す。主な取り組みとして、前期課程での英語・数学の

人当たり百六十二・一人と全国平均よりも著しく低いのが、中でも、常陸太田・ひたちなかなどの二次保健医療圏は百人未満である。県北地域をはじめ医師不足の顕著な地域の医師確保対策をどのように進めていくのか。

**知事** 平成二十三年度から、医師不足地域で勤務することを条件とした医師修学資金貸与制度を拡充するほか、筑波大学などの寄附講座を活用した医師派遣も予定している。さらに、医師不足地域においても、より多くの医師が働きたいと思えるような魅力ある病院づくりを進めていく。

**議員** 危機的状況にある新卒者の雇用情勢を改善するためには、短期的にも長期的にも、

授業時間の増、習熟度別の少数指導などにより、確かな学力の定着を図る。また、病院や研究機関などと連携した体験学習などによる科学教育や外国人留学生との交流などをおこなった国際教育にも取り組む。

**議員** 昨年、議会調査特別委員会から、平成二十五年年度までに五十五ある県出資団体を概ね四十まで削減するよう提言したが、昨年末までの削減数は二団体のみ。今後、どのように県

また、全庁をあげ産業振興から教育まであらゆる分野における総合的な取り組みが必要と考えるが、所見は。

**知事** 平成二十三年度は、学校と地域の企業との調整を行うコーディネーターを配置し、各学校において地域にマッチした人材の育成などを行う。また、中小企業の振興や新産業の創出、企業誘致など、教育から産業振興まで総合的な取り組みを進める。

(ほかに、企業誘致の推進に向けた総合的な取り組み、新しい公共への対応、今後の人事管理のあり方についてなども質問)



出資団体の改革を進めるのか。

**知事** 平成二十二年年度末までに、労働者信用基金協会や勤労者余暇活用事業団の解散などにより、四十九団体まで削減できる見込み。本年四月には、建設技術公社と道路公社の総務経理部門を統合するほか、農林振興公社など農林関係三団体も統合に向け具体的に検討している。進行管理を徹底し、目標達成に向けて、全力で取り組む。

**議員** 日野自動車受入態勢づくりをどのように進めるのか。また、進出効果を県内に波及させるため、関係企業の誘致や取引参入を目指す県内企業の支援に積極的に取り組むべきでは。

**知事** 日野自動車と協議しながら、造成工事や周辺道路、工業用水などの基盤を整備してきた。従業員などにも本県に来て良かったと言ってもらえるよ

## 公会計の複式簿記化に着手すべきでは 総務省研究会の動向等を見ながら 適切に対処する

**井手義弘議員(公明)** 自治体の会計は、地方自治法に基づき、単年度の収入と支出を単式簿記により予算と決算の手続きを行うことになっている。東京都では複式簿記をシステム化して行政コスト計算書などを作成していることから、一つ一つの事務事業を客観的に評価し、見直しを行えるようになった。東京都方式への移行は、初期投資が莫大になる、他の自治体との比較検討が難しくなるなど欠点もあるが、こうしたリスクに挑戦しても、東京都方式による公会計改革に着手すべきと考えるが。

**知事** 全国知事会としても新たな地方公会計制度の導入を積極的に進めるよう提案しているところ。総務省の研究会で地方公

う全力を尽くす。また、一社でも多くの関係企業の誘致を目指すほか、品質改善などのためのセミナーや工場見学会、さらには、日野自動車本社に県内企業の技術アドバイザールする説明会を開催するなど、取引に結びつくよう支援する。



高い学力と豊かな人間性を兼ね備えた次代のリーダーの育成を

会計基準の見直し検討を行っており、研究会の動向などを見ながら適切に対処してまいりたい。

**議員** 県北地域の中核医療機関である日立製作所日立総合病院では、新たな病棟建設が進んでおり、その公的な役割は非常に大きい。JCO臨界事故の影響を払拭する政策に充てるため創設された原子力安全等推進基金の一部を活用し、日立総合病院の新病棟整備に支援を行うべきと考えるが。

**知事** 基金創設の趣旨に即し、JCO周辺住民への健康診断事業の財源に充てるほか、防災対策や県北・県央地区の救急医療体制の充実などに活用する方向で考えていることから、本基金

も活用し、必要な支援を行う方向で検討してまいりたい。

**議員** 県IT戦略会議の提言などを踏まえ、今後のIT戦略に対して第一に自治体クラウドの推進、第二に医療分野でのITの高度利用、第三に住民の孤立化を防ぐツールとしてのIT活用の三点を提案する。

**知事** 新たなIT戦略においては、県民の利便性の向上と質の高い行政サービスを提供する観点から、業務の積極的な見直しと改善、システムの最適化を一体として推進してまいりたい。(ほかに、無縁社会への対応、議会改革、中国との交流拡大なども質問)



複式簿記導入による公会計改革を

## 県議会改革等調査検討会議を設置しました

二元代表制の一翼を担う議会がその役割を十分に果たしていくため、三月二十二日に議長長の諮問機関として「県議会改革等調査検討会議」を設置しました。

### 委員の構成

◎は座長 ○は座長代理

- ◎海野 透 ○常井 洋治
- 石川 多聞 小田木真代
- 細谷 典幸 狩野 岳也
- 西條 昌良 長谷川修平
- 井手 義弘 江田 隆記
- 梶岡 博樹 大内久美子